

回 覧

愛西市教育委員会

愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策に関する 意向調査結果のお知らせ

令和 5 年 10 月に立田地区の皆様にご調査を実施しましたところ、短い期間にも関わらず多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。

調査の全結果につきましては、愛西市公式 HP（ホームページ）に掲載しております。調査の全結果をご覧いただける QR コードを 4 頁に貼付します。

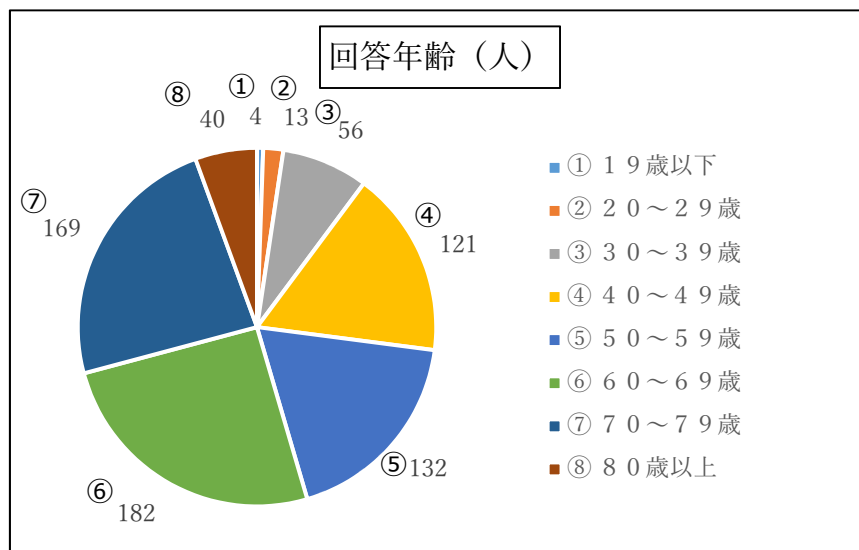
本紙では、調査結果の一部を抜粋※1 してお知らせします。本紙と愛西市公式 HP と、合わせてご覧いただければ幸甚に存じます。

※1 「Ⅰ.適正化の必要性や課題について」、「Ⅱ. 過小・小規模中学校に対する適正化（学校統合など）について」、「Ⅲ. 中学校の統合校について」、「Ⅳ. 小学校の統合について」及び「Ⅴ. 適正化を進める上での不安や課題について」の結果です。

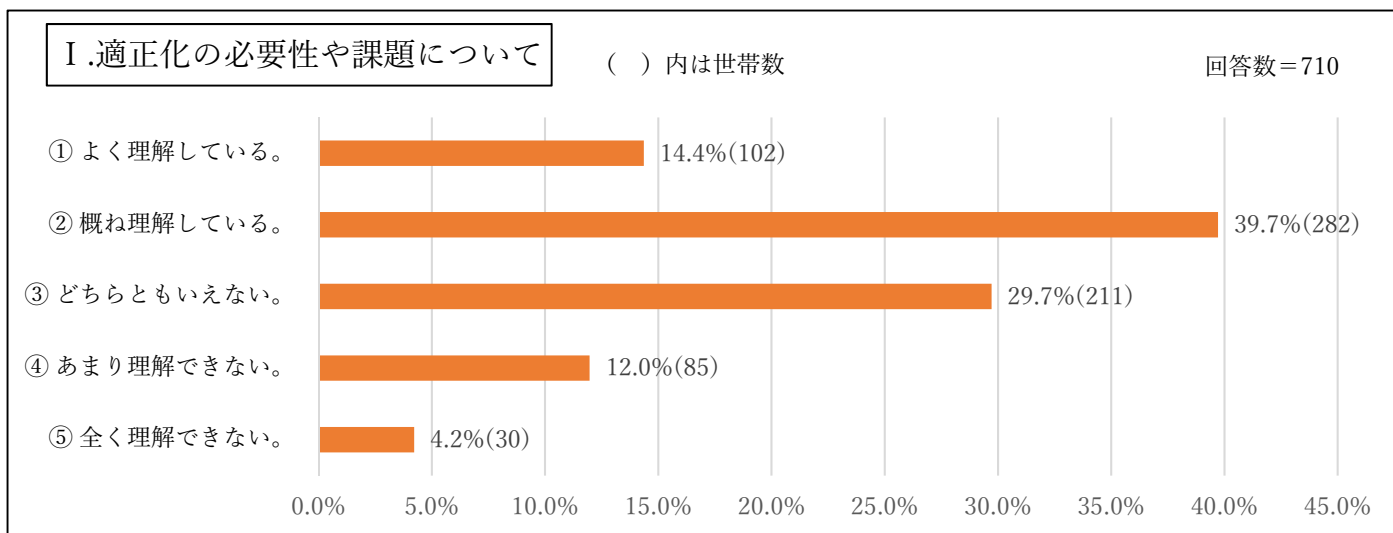
アンケート実施期間：令和 5 年 10 月 26 日～令和 5 年 11 月 12 日

回収数：720（対象世帯数：2,209 世帯）

回収率：32.6%



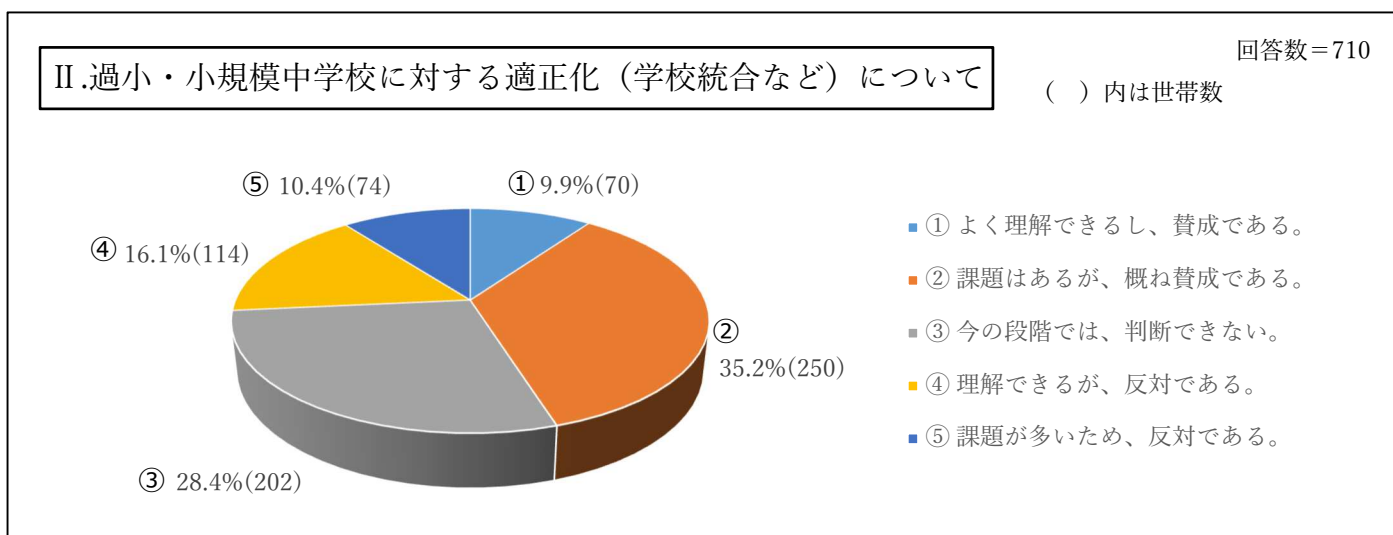
I.学校規模適正化の必要性や課題について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。



「①よく理解している」、「②概ね理解している」と回答された世帯が、合わせて 54.1%となりました。一方で、「④あまり理解できない」、「⑤全く理解できない」と回答された世帯が、合わせて 16.2%となりました。

- ・ 適正化の必要性や課題につきましては、概ねも含め「理解している」世帯が多いとの結果となりました。

II.過小規模中学校、小規模中学校に対する適正化（学校統合など）について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

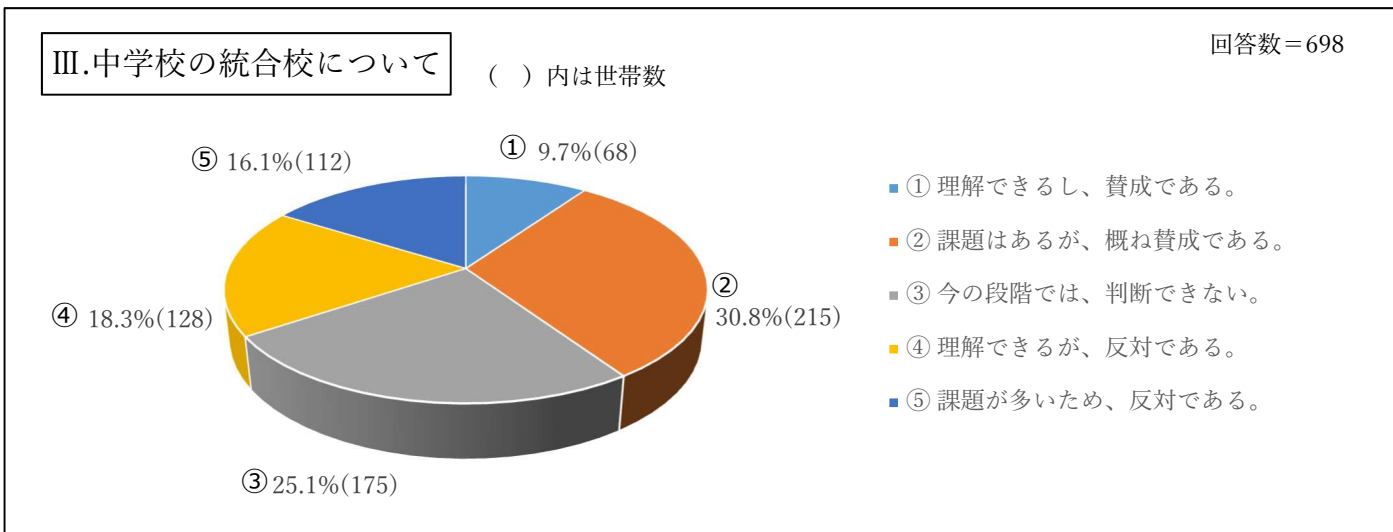


「①よく理解できるし、賛成」、「②課題があるが、概ね賛成」と回答された世帯が、合わせて 45.1%となりました。一方で、「④理解できるが、反対」、「⑤課題が多いため、反対」と回答された世帯が、合わせて 26.5%となりました。

- ・ 過小・小規模中学校に対する適正化（学校統合など）につきましては、概ねも含め「賛成する」世帯が多いとの結果となりました。

Ⅲ.「現在の佐屋中学校の場所に、現在の立田中学校区と佐屋中学校区の全部を1つの学区とする新たな中学校を配置する」施策について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

ただし、現在の立田中学校区在住の生徒で、現在の佐織西中学校までの距離・時間が、新たな中学校に比べて短く、現在の佐織西中学校への進学を希望する場合は、現在の佐織西中学校へ進学できる制度を検討します。

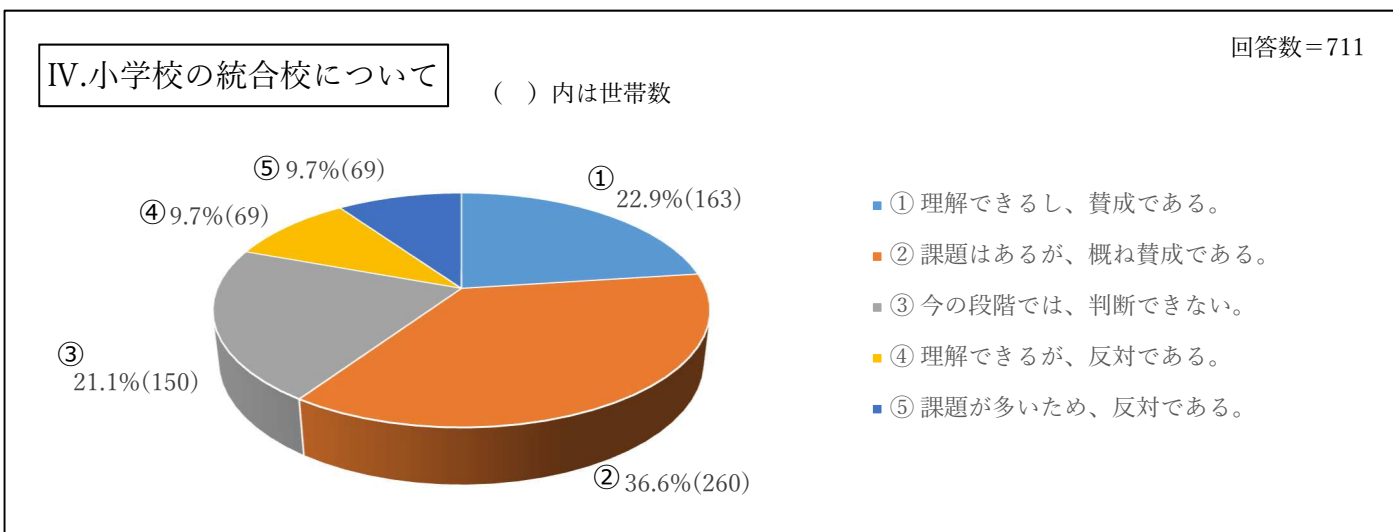


「①理解できるし、賛成」、「②課題があるが、概ね賛成」と回答された世帯が、合わせて40.5%となりました。一方で、「④理解できるが、反対」、「⑤課題が多いため、反対」と回答された世帯が、合わせて34.4%となりました。

- ・ 「現在の佐屋中学校の場所に、現在の立田中学校区と佐屋中学校区の全部を1つの学区とする新たな中学校を配置する」施策につきましては、概ねも含め「賛成する」世帯が多いとの結果となりました。

Ⅳ.「現在の立田中学校の場所に、現在の立田南部小学校区と立田北部小学校区の全部を1つの学区とする新たな小学校を配置する」施策について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

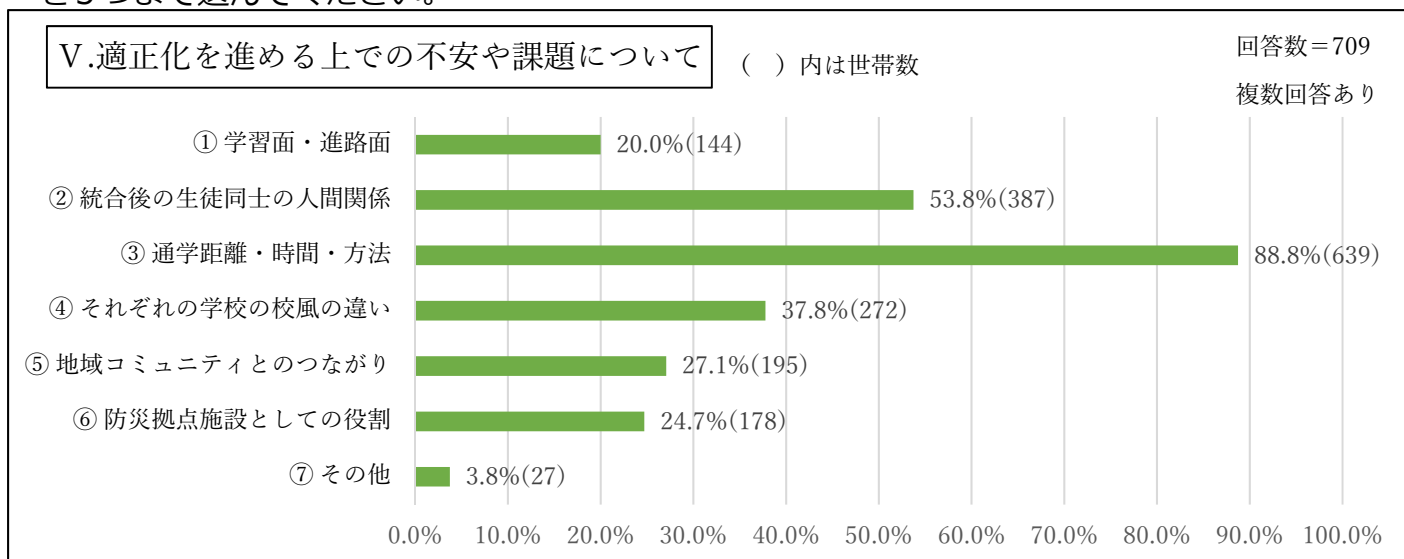
ただし、立田北部小学校区の一部は、草平小学校へ進学できる制度を検討します。



「①理解できるし、賛成」、「②課題があるが、概ね賛成」と回答された世帯が、合わせて59.5%となりました。一方で、「④理解できるが、反対」、「⑤課題が多いため、反対」と回答された世帯が、合わせて19.4%となりました。

- ・ 「現在の立田中学校の場所に、現在の立田南部小学校区と立田北部小学校区の全部を1つの学区とする新たな小学校を配置する」施策につきましては、概ねも含め「賛成する」世帯が多いとの結果となりました。

V.学校規模適正化をすすめる上で、どんな不安や課題があるとお考えですか。優先度の高いものを3つまで選んでください。



- ・ 学校規模適正化を進める上での不安や課題につきましては、「通学距離・時間・方法」についてが最も多く、続いて順に「統合後の生徒同士の人間関係」、「それぞれの学校の校風の違い」について不安を感じ、課題であるとの結果となりました。
- ・ また、「地域コミュニティとのつながり」、「防災拠点施設としての役割」といった学校施設の地域における役割についても、不安、課題を持つ方が一定数いるとの結果となりました。

統合校についての各施策調査の結果、概ねを含め、「賛成する」世帯が多い結果となりました。一方で、適正化を進める上での不安や課題について、「通学距離・時間・方法」、「統合後の生徒同士の人間関係」、「それぞれの学校の校風の違い」の順に挙げられました。

今後も教育委員会は、愛西市の子どもたち全員が充実した環境で学び、成長していただけるよう「第Ⅰ期愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」策定に、取り組んでまいります。

※ここに記載できなかった調査結果は、愛西市公式HPに掲載してあります。右のQRコードから直接見ていただくことができますので、是非ご覧ください。



これからも、愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策に関する情報を、チラシや広報紙、愛西市公式HP・SNS等で皆様にお知らせしてまいります。

ご意見やご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

愛西市教育委員会事務局

教育部学校教育課 ([0567-55-7136](tel:0567-55-7136) / gakko-kyoiku@city.aisai.lg.jp)